令和６年 10 月 14 日（月・祝）≪午前≫
第 13 期Ａコース研修生　「日本の近現代史②」

今回は日本の近現代史講義２として、「国際秩序の変化～第一次世界大戦勃発から第二次世界大戦終結まで～」を学習しました。研修生は事前課題として、日本の近現代史担当者が作成した講義動画を視聴し、当時の時代背景について理解を深めた上で研修に臨みました。

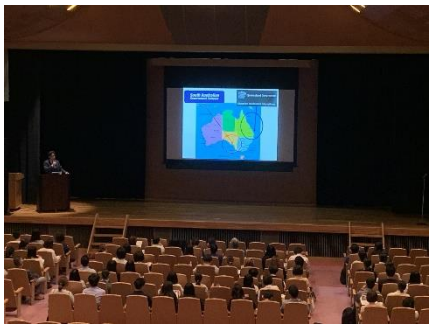
事前課題は次のとおりです。

この時代、日本及びオーストラリア・ニュージーランドは太平洋戦争に至るとともに、それぞれの国民や太平洋諸島の人々に大きな影響を及ぼした。このことについて、留学した際に出会う人々からどのような「問い」が出されるのかを考えてみよう。また、その「問い」に対してどのように説明するのか、「自由・制限」、「平等・格差」、「開発・保全」、「統合・分化」、「対立・協調」などの観点を踏まえ、考えてみよう。

研修生は４～５人のグループになり、それぞれのグループごと、グループ内で事前課題の発表と協議を行いました。「留学した際に出会う人々からどのような「問い」が出されるのか、その「問い」に対してどのように説明するのか」について、協議を通じてより一層理解を深めました。帰国した修了生の話から、実際に、留学先の現地の方々から日本の近現代史に関する事項について質問されることが多いそうです。また、現地の方々だけでなく、他の国や地域からの留学生からも同様の質問を受けることがあるそうです。

協議した内容について、グループごとに模造紙にまとめ、その内容を全体に発表し、クラス全体で共有しました。講義全体を通じて、自分のまとめたことや考えが、実際にオーストラリアやニュージーランドの人たちに伝わるようにと、研修生たちは熱心に取り組んでいました。

令和６年 10 月 14 日（月・祝）≪午後≫
第 13 期Ａコース研修生　「渡航前オリエンテーション」



第 13 期Ａコース渡航前オリエンテーションが研修生及び保護者を対象に行われました。オリエンテーションは、第１部と第２部の、２部構成で行われました。渡航まであと３か月に迫り、研修生たちは真剣に話を聞いていました。

第１部では、次世代リーダー研修生としての責任、規則、留学に向けて準備しておくべきことなどのお話や、学校への届け出、さらに留学における単位認定などについての説明が行われました。

第２部では、研修生は留学先ごとに分かれて、オーストラリアやニュージーランドの教育制度の紹介、学校生活、ビザの申請方法などの説明が行われました。

渡航前オリエンテーション終了後、別会場にオーストラリア留学、ニュージーランド留学、保険、通信関係、東京都教育委員会の５つの質問ブースが設けられ、各担当者への質疑応答が個別に行われました。また、別室で研修生及び保護者の皆様は、有志の次世代リーダー育成道場修了生から留学の体験談や帰国後の進路などについての話を聞くことができました。

留学生活を良い形でスタートさせるためにも、これから出発までの約３か月という時間を、研修生の皆さんは大事に過ごしてほしいと思います。